

伊賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）中間案 パブリックコメント等に対する対応案

伊賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）中間案へのパブリックコメントを次のとおり実施しました。

【募集期間】 令和7年12月1日（月）から令和8年1月9日（金）まで

【募集内容】 伊賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）に対するご意見

【閲覧方法】

1. 伊賀市ホームページ
2. 伊賀市役所（玄関ロビー、文化財課、各支所へ設置）

【結果】

意見数：6名（うちWeb利用4名）、13件

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|--|-------------------------------------|----|
| 1 | (1ページ8行目) | 次のとおり選定された対象を明記していただくようお願いします。 (修正前) 平成29年(2017)には、日本イコモス国内委員会により「日本の20世紀遺産20選」の一つに選ばれている。 (修正後) 平成29年(2017)には、日本イコモス国内委員会により伊賀上野城下町の文化的景観が「日本の20世紀遺産20選」の一つに選ばれている。 | 選定された内容を正確に記載する必要があることから、加筆して修正します。 | ○ |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|---|--|----|
| 2 | (5ページ7行目) | <p>次のとおり修文してください。</p> <p>(修正前) また、近畿圏、中部圏の2大都市圏の中間に位置し、</p> <p>(修正後) また、大阪、名古屋の2大都市の中間に位置し、</p> <p>(修正理由) 近畿圏整備法、中部圏開発整備法により、三重県全体が近畿圏及び中部圏の双方に包含されているため、伊賀市が近畿圏、中部圏の2大都市圏の中間に位置するという表現は適切ではないと考えられる。</p> | <p>指摘事項は適切と判断しましたので、修正します。</p> | ○ |
| 3 | 12ページ | <p>人口動態について</p> <p>今の伊賀市で一番の課題と思います。</p> | <p>計画書の内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 4 | (13ページ) 下か | <p>次のとおり「柘植駅」が三重県最古の鉄道駅であることを明示してください。</p> <p>(修正前) 亀山を通じて名古屋とつながる東端の柘植駅は、関西本線から分岐する草津線を通じて草津・京都へとつながる。</p> <p>(修正後) 亀山を通じて名古屋とつながる東端の柘植駅は三重県最古の鉄道駅であり、関西本線から分岐する草津線を通じて草津・京都へとつながる。</p> | <p>柘植駅の来歴、位置をより分かりやすく説明する文節と理解しましたので、加筆・修正します。</p> | ○ |
| 5 | (28ページ) 下か | <p>次のとおり修正してください。</p> <p>(修正前) 俳聖松尾芭蕉を輩出した伊賀では、</p> <p>(修正後) 俳聖松尾芭蕉を生んだ伊賀では、</p> <p>(修正理由) 「輩出」は、多くのすぐれた人物を世に出すことを意味し、一人の場合に使うのは誤りであるため。</p> | <p>表現が適切でないと判断しましたので、修正します。</p> | ○ |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|---|---|----|
| 6 | 70ページ | <p>特産品</p> <p>伊賀市歴史的風致維持をするためにはお金が非常にかかります。その為伊賀市の脈々と受け継がれている伊賀米、伊賀牛、日本酒といった特産品を全国、忍者を織り交ぜて海外の観光客に向けてアピールすべきと考えます。</p> <p>伊賀市の歴史的な遺物、箱物を紹介するのではなく、お祭りで神輿をかついでもらう、伊賀市の特産品、美食で観光客を呼ぶといったことでお金を稼ぎ歴史的な風景、遺産を維持する資金にと思います。</p> | <p>計画書の記載にかかる具体的内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 7 | P. 140 | <p>歴史的建造物の保存と活用に関する課題</p> <p>歴史的建造物の修理をしたり、古民家のホテル再利用だけでは限界があると思う。それで、誘客促進等の事業と関連した新たな古民家活用事業者の誘致をしようとする意見に賛成です。</p> | <p>計画書の記載にかかる具体的内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 8 | P. 145 | <p>伊賀市観光振興ビジョン</p> <p>伊賀流の熱量人口を育みたいを目指して、次世代へつなげるために、Beyond 2025プロジェクト等の展開事業をすすめている事は、大事な事だと思います。</p> <p>地元の人と、観光にきた人が交流して、新たな発見が有るかも知れないから、有意義な事だと思います。</p> | <p>計画書の記載にかかる具体的内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 9 | (203ページ) | <p>「歴史的風致形成建造物候補一覧」に、JR関西本線の歴史ある駅舎（伊賀上野駅、柘植駅、佐那具駅、島ヶ原駅）も掲載していただくようお願いします。</p> | <p>国土交通省が定める「『歴史的風致維持向上計画』作成マニュアル」では、歴史的風致形成建造物候補は、重点区域内に所在する建造物を対象とすることになっています。ご了承下さい。</p> | |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|--|--|----|
| 10 | | <p>人口動向について 人口減少し、税収が減少して、今年度市の財政赤字ですね！ さて、人口減少は動向でわかります。何故、人口が減少するのかで、原因は何かと考えてみると、伊賀市から若者の流出が一番の原因だと考えられます。何故かと言えば、伊賀で魅力ある仕事が無い事と、せっぱん大学行くのが当たり前の時代ですが、専攻学部に関する仕事が無い、等が主たる原因だと考えられます。</p> <p>対応としては、給料の高い企業誘致と色々な職種の企業誘致が市が対応できるであろう事だと考えられます。</p> <p>税収減少での赤字対策ですが、税収減少を見込んだ計画の作成、積極財政出動による市としての景気対応等が考えられます。</p> | <p>計画書の記載にかかる具体的内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 11 | 76ページ | <p>伊賀弁の項目がないようです。伊賀弁は独特な言い回しがあります。薄れて行く前に記録をお願いします。</p> | <p>本計画にかかる内容ではなく、歴史文化の調査・記録の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |
| 12 | 39ページ | <p>3-2 関わりある人物 地域誌「伊賀百筆」編集長北出楯夫氏に聞いて知りました。厚生省の元型を設置まで求めた医師（相当の大人物だと思いますが）岩野森之助 柏尾で生まれ東大医学部→柏尾で岩野医院を継いだ方です。偉人にふさわしい。（旧青山には沢田さんのような京大大学長もおります。）</p> | <p>岩野森之助については、関わりある人物に加筆します。</p> | ○ |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|---|------------------|----|
| 13 | 128ページ | ①はじめに 川端康成の記念講演では「古伊賀」(コイガ)と云われすばらしい焼き物と・・・「古伊賀」の文字が出ていないのはなぜですか。 | 「古伊賀」の表記を採り入れます。 | ○ |

※ 歴史的風致維持向上協議会、文化財保護審議会からの指摘事項（非公開）

| | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|
| 1 | p 16、下から3行 目 | 「産業別に」 ⇒不要、トル | 削除する方が、文意がより分かりやすくなるので、削除し修正します。 | ○ |
| 2 | p 28、下から2 行、1行 | 「輩出」は複数人が出るときに用いる [「家臣」 そう呼んでいいか、確認ください | 表現が適切でないと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 3 | p 36②と③の順番 | 人物の生年で並べると、このようになるが、他地域出身者の場合、伊賀と関わった時期の順にし、筒井と藤堂を入れ替える方が良いのではないか。 | 人物の生年順に記載することで統一していますので、現在の記載順といたします。ご了承ください。 | |
| 4 | p 41、観菩提寺楼 門 | 「三間二面」は間面記法の誤用なので、用いない。 ⇒「上層桁行三間梁間二間の柱間は各間を開け放ち、腰に厚い廻縁をめぐらして高欄を設けている。下層は桁行の中央間を入口とし、両脇は前後と入口側を開け放し、他は壁とする。天井は鏡天井とする。」 | 表現が適切でないと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 5 | p 41、一番下 | 「捻廊」用語として余り一般的ではなく、指定対象でもないので省略し「3殿の中央に立つ。」で止めてはどうか。なお、春日大社では「ねんろう」ではなく「ねじろう」と読んでいる。 | 表現が適切でないと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 6 | 66 | 鳴塚の出土鏡は、乳文鏡 ではなく 乳脚文鏡 です。 | 表現が適切でないと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 7 | p 67、寺村家の2 行目 | 「町屋」⇒「町家」 | 町屋・町家は、町家で統一していますので、修正します。 | ○ |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-------------------|---|---|----|
| 8 | p71、下から6行目 | 「口解け」⇒「口溶け」 | 表記が適切でないと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 9 | p75、下から2行目 | 「神奈川県近代美術館」⇒「神奈川県近代美術館鎌倉別館」 | 正確な表記とすべきと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 10 | p81、2の3行目 | 「13」⇒「14」 | 正確な表記とすべきと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 11 | p82、上から20行目 | 「妻飾大瓶束」⇒「妻飾の大瓶束」 | 正確な表記とすべきと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 12 | p91、下から15行目 | 「需供体制」⇒「需給体制」か？ | 正確な表記とすべきと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 13 | p109、117、127、136 | 図名は「地割図」、本文は「旧公図」。統一的な表現はできないか。 | 使用している図は、すべて旧公図なので、旧公図で統一します。 | ○ |
| 14 | p173、事業概要 | 「登録文化財」⇒「登録有形文化財」 | 正確な表記とすべきと判断しましたので、修正します。 | ○ |
| 15 | 10ページ | 2社会的状況 2—1市町村合併経緯 令和5年3月版ならP15表「市町村合併の経緯」のような表わしの方がよくわかるのでは。文章にするよりいいのでは。 | 三省庁との協議で文章化するよう指摘がありましたので、文章表記としております。ご了承ください。 | |
| 16 | 98ページ 下から8行目 | 上野西小学校体育館の説明 三角形断面トラスビーム⇒三角形断面(トラスビーム)としてはどうか。 | 修正しました。 | ○ |
| 17 | 144ページ 下から15行目 | ヒューマンスケール → こんな言葉普通のように使かうのでしょうか。確かに日本語にすると長過ぎるかもですが。 | 伊賀市景観計画に記載の文言であり、同計画を抜粋して説明している部分であるため、このままの表現とします。 | |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|---|--|----|
| 18 | 36ページ | 俊乗房重源 ・「建仁2年（1202）に源頼朝の支援を受け・・・」とありますが、頼朝は1199年に没しているため、表現に微修正が必要かと思えます。 ・末尾の「像高293cmの木造如来坐像は・・・」の一文は、木造俊乗上人坐像についてのものでしょうか。 | 修正しました。像高293cmの木造如来坐像と木造俊乗上人坐像は別のものです。 | ○ |
| 19 | 57ページ | 伊賀甲賀山論関係文書 「牛玉宝印」とありますが、「牛玉宝印」の方がよいと思えます（辞書項目名になっている）。 | 修正しました。 | ○ |
| 20 | 74ページ | 表7の7 指定等の状況のところ 「市指定有形文化財 古文書」は「市指定有形文化財（古文書）」でしょうか | 修正しました。 | ○ |
| 21 | 43ページ | ③重要文化財(美術工芸品(彫刻)) 【木造十一面観音像(島ヶ原 観菩提寺)】 の記事について一木造、材質は榿であることを記述してはどうでしょうか。 | 加筆・修正しました。 | ○ |
| 22 | 59ページ | ⑧無形民俗文化財 【正月堂の修正会(島ヶ原 観菩提寺)】 ほその木は「ほぞの木」と伝わっていますが。 | 確認の上、修正しました。 | ○ |
| 23 | 72ページ | ③食文化 【雑煮(丸餅文化)】 雑煮について 里芋は切らずに入れる。恵方の方角に向かって家族全員が祈る。 三が日の雑煮は男衆が賄う風習があります。 | それぞれの地域性については割愛させていただきます。 | |

| 番号 | 掲載箇所 (原文のまま) | 意見等 (原文のまま) | 意見への対応 | 反映 |
|----|-----------------|---|--|----|
| 24 | 165ページ以降 | <p>I 歴史的風致維持向上施設の整備又は官理等に関する方針</p> <p>第1期計画では、重点区域を中心に、歴史的建造物の保存修理や景観の保全、周辺環境の整備を行っていただき、島ヶ原地域の観菩提寺の防災設備と多聞天立像・広目天立像（令和8年まで）を保存修理していただきありがとうございました。地域の宝として大切にしていきたいと思っています。</p> <p>第2期計画では、人口減少の進展を背景に、維持管理や継承が困難となる歴史的建造物の保存・活用や地域の祭礼行事等の継承につながる事業に取り組むこととなっています。</p> <p>地域では人口減少により祭礼等の後継者不足が深刻な問題となっています。解決策として、イベントや観光面に力を入れて、地域外の人に祭礼の価値や魅力を発信していく方法がありますが、「人」の育成が一番大事だと思います。そのためには、地域住民が歴史的建造物や祭礼の価値や魅力を知り、誇りに思えるような地道な取り組みをしていかなければいけないと感じています</p> | <p>計画書の記載にかかる具体的内容ではなく、市政全般の課題についてのご指摘、ご意見と判断しました。</p> | |